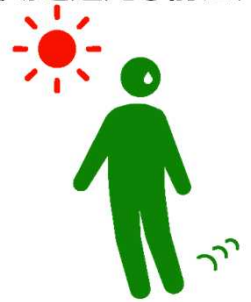


## 熱中症に注意

建設業では屋外作業が多いことから、熱中症による死傷者が最も多く発生しています。昨年度近畿管内で建築工事やトンネル工事等現場で熱中症事故が8件発生しました。本格的な夏場を迎える前に、早めの対策を講じましょう。

### 熱中症とは

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。



### 熱中症が疑われる人を見かけたら

#### 涼しい場所へ

風通しの良い日陰など、涼しい場所へ避難させる。

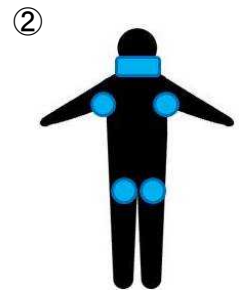


#### からだを冷やす

衣服をゆるめ、身体を冷やす

(特に首回り、脇の下、足の付け根など)

- ① 露出させた皮膚に水をかけ、うちわや扇風機などであおぐことで体を冷やします
- ② 氷のうなどがあれば、それを首すじ、脇の下、大腿の付け根、股関節あたりに当てることも有効です



#### 水分補給

水分・塩分、経口補水液などを補給する。

経口補水液は水に食塩とブドウ糖を溶かしたものです。経口補水液とスポーツドリンクとはナトリウム量と炭水化物量(糖分)が違います。日常生活や軽い運動時にはスポーツドリンクでも十分ですが、大量に汗をかいた場合には経口補水液が適しています。

意識障害や吐き気がある場合は、救急搬送を



### 休憩施設を設置しましょう

- パラソル・テント、ミスト扇風機・ベンチを設置しましょう。
- 現場近隣にパラソル・テントの設置場所を確保できない場合は、車両で休憩するなど工夫をしましょう。

国土交通省発注工事における熱中症対策について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08\\_hh\\_000409.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000409.html)



# 除草作業の事故に注意



重点：除草作業

昨年度除草時の事故は13件発生しました。本年度はより一層の安全対策を講じ、発生件数を1件でも減らすように取り組みましょう。（除草作業については、平成30年度工事等事故防止重点対策項目です。）

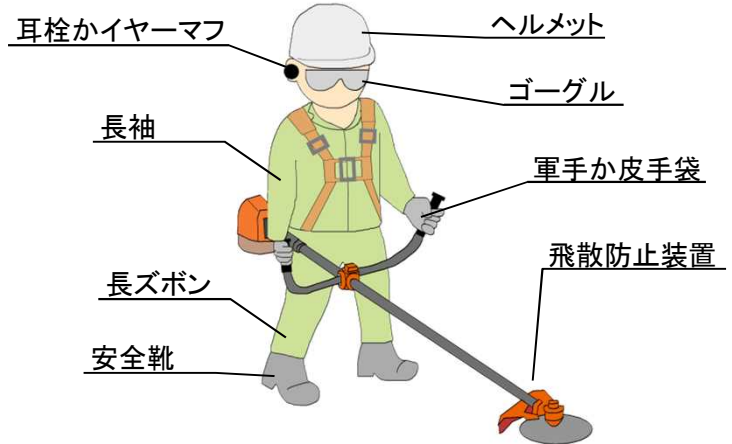
## 作業時の服装は

イラスト：農林水産省HP「農作業安全研修資料等」を利用して作成

### ◆服装

ヘルメット  
ゴーグル、フェイスガード  
長袖の上着  
長ズボン  
軍手か皮手袋※  
安全靴  
耳栓かイヤーマフ

※虫刺され、草まけ、トゲ刺し等の防止のため、皮手袋を着用しましょう。



### ◆肩ひも（ベルト）

快適に作業するため、肩ヒモ（ベルト）は、身長にあわせて長さを調節します。腰を反らせすぎず、前に曲げすぎないリラックスした姿勢で刃が地面から数センチの高さで平行になるように調節します。

## 作業時を始める前には

### ●作業場の状況を確認

- 作業範囲の清掃、石など**危険なものは撤去**しましょう。
- 距離標、杭、側溝、ケーブル、電柱の支線などには**目印をつけ、周囲を手刈り等で先行除草する**などしておきましょう。

### ●肩掛け式草刈機の刃の確認

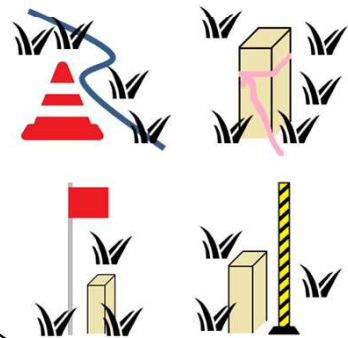
- 刃に損傷などないか確認**しましょう。
- 上から見て刃先が左向きになっていますか。
- 刃が草刈機にしっかりと固定されていますか。
- 刃にガタツキはありませんか、ガタツキがあると切れにくく、危険です。

### ●エンジン始動

- 始動直後にエンジンが高回転にならないよう、アイドルスロットル（全閉状態）の確認をします。手動チョークの場合はエンジン始動後の戻し忘れに注意します。
- エンジンをかける前に周囲に人や物、可燃物がないか確認**します。
- 草刈機は地面に置き、きちんと押さえてエンジンをかけます。その際、刈刃が地面や障害物に触れていない事を確認してください。
- エンジンを始動して異常を感じたら、エンジンを停止させ、刈刃の回転が完全に停止をしてから点検しましょう。
- 刈刃の回転にブレが無い確認しましょう。

### ●燃料の保管

- 現地では、直射日光や高温になる車内に燃料を置かず、木陰などの風通しの良い場所に置きましょう。
- 残った燃料は専用容器に入れましょう。ガソリン、オイル、混合油など内容物がわかるようラベル表示しましょう。



安全距離の確保

# 除草作業について



重点：除草作業

## 除草作業中は

- 作業中はエンジン音で声をかけても聞こえにくく、視野も狭くなっているので注意して近づきます。
- 作業に集中すると周囲への注意が散漫になります。作業範囲、順序などを十分に打ち合わせておきます。
- 長時間作業をせず、適切に休憩や水分補給をします。（30分作業につき、5～10分休憩）



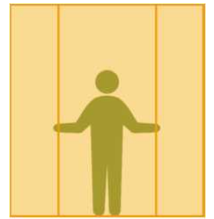
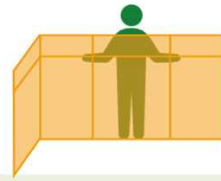
30分  
作業



休憩

## 養生は確実に

- L型防護ネットや広範囲ネット、トラック荷台の上への設置など、現場状況に応じて**防護ネットを使用**しましょう。



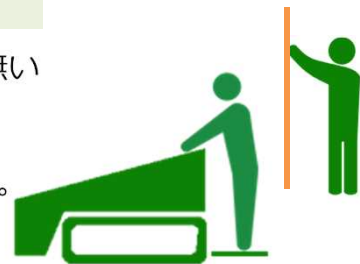
## 肩掛式草刈機の注意点

- 草、ひも、かずらなど刃に物を巻き込んだら、**必ずエンジンを停止して、刃の回転が止まってから除去**しましょう。エンジンをかけたまま除去しては危険です。
- 始動時にエンジンがかかりにくかったり、刃が回転しなかったり、作業中に刃の回転が止まっても、**エンジンを切るまでは絶対に刃に触らないよう**にしましょう。急に回りだすことがあります。



## ハンドガイド式草刈り機の注意点

- ハンドガイド式草刈機には前面にカバーがついていますが、側面のカバーの無い所から飛んだ事例もみられます。**飛び石対策は確実に**行いましょう。
- 履帯付近への足の踏み外し対策を行いましょう。
- 1人で作業せず、補助者は**適正な離隔距離を確保**して補助作業を行いましょう。
- **突発的な不具合が発生した場合は、2人以上で確認**しましょう。
- 緊急停止スイッチの適切な使用を行いましょう。



## 遠隔操作式草刈り機の注意点

- 点検時は必ずエンジンを停止して行いましょう。**動作確認時は、2m程度の離隔を取った状態**で行いましょう
- エンジン停止の際は、**リモコンの電源を切ってから**機械に近づくようにしましょう。
- 草刈機本体へ「点検時、エンジンを切れ!」等の注意ステッカーを貼りましょう。
- **突発的な不具合が発生した場合は、2人以上で確認**しましょう。



①農林水産省のHP、②独立行政法人国民生活センターのHPには刈払機の注意事項が掲載されています。参考にしてください。

- ① [http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html)
- ② [http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20130704\\_1.html](http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20130704_1.html)

